ぼくたちの学校！わたしたちの学校！

【小中学校に関する問い合わせ】教育総務課　☎820－５６２０

この本、よかった！　みなさんにもおすすめしたい「くまどく本」を紹介します！

No.149　「小学館の図鑑 NEO〔新版〕　昆虫　DVD つき」
指導・執筆：小池 啓一、小野 展嗣、町田 龍一郎、田辺 力　出版社：小学館

淳教幼稚園

吉原　虎汰朗（たけ組）
クワガタとカブトムシのページが大好きです。特にノコギリクワガタがかっこいいです。DVDにクワガタとカブトムシの戦いがありました。どちらもすごくかっこよかったです。

吉原　美保恵（母）
「あの時見かけた虫はこれだったのかな」と図鑑で調べたり、「本当にこの虫を見てみたい！」と話したり、子どもも大人も夢中になれます。ぜひ親子で一緒に楽しんで見てもらいたいです。

（教育総務課社会教育グループ）

くま SUN 和く・湧くファミリーデイ

熊野第三小学校

11月15日(土)に、学習発表参観『くま SUN 和く・湧くファミリーデイ』を行いました。学級・学年ごとにブースを行ったり、全校発表では合唱や合奏を披露したりしました。子どもたちは「来てくれた人に楽しんでもらいたい!!」「自分たちの思いを届けたい!!」と、主体的に練習や準備に取り組みました。それに対して、来校されたみなさんが、子どもたちの頑張りや成長を認めてくださったことで、子どもたちが“できた!!”を実感できた行事となりました。また、今年度も保護者や地域の人による『くま SUN 和く・湧くファミリー応援団』のブースも開かれ、児童・保護者・地域・教職員の触れ合いの機会となりました。

子どもたちは、参観日当日の結果だけでなく、当日までの取り組みを通して、“自分の考えを表現する力”や“仲間と協力する力”、“最後までやり抜く力”など、多くの力を伸ばすことができました。子どもたちの表情からも、達成感や一人ひとりの成長を実感することができました。

▲第2部　全校発表『最強無敵のくま SUN ファミリー』

（教育総務課）

熊野をつなげ隊！

熊野中学校

1年生は、総合的な学習の時間に「熊野をつなげ隊」として、より住みやすい町になることを目指して、探究的な学びに取り組んでいます。

1学期は、地域を訪ねたり、町内で活躍する人から話を聞いたりして、“熊野町”について詳しく調べました。2学期は、学校運営協議会委員のみなさんに対してや、『こども議会』で自分たちのアイデアを提案し、意見をいただきました。そのほかにも、高齢者施設の訪問や町内にある公園の環境整備、熊野筆のPRなど、グループごとに自分たちが考えたことに取り組みました。

地域を訪ねた際には、温かく迎えてくださり、ご協力いただいたことに感謝と喜びを感じています。

これから生徒たちは、2月21日(土)に東防災交流センターで開催される『きんさいフェス』で企画・運営を行うイベントの準備をしていきます。精一杯企画して取り組みますので、お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

▲役場4階の議場で行われた『こども議会』の様子

（教育総務課）

STOP9　わが家の「ケータイルール」
夜９時以降はテレビゲームやスマホはやめて、十分な睡眠を取りましょう。
そして、毎朝欠かさず朝食を食べ、基本的生活習慣を身につけましょう。

この地に一筆（ふるさと）都が育てる筆（ふるさと）都を育てる一 (350)

熊野高等学校「シンガポール国際交流」

11月18日(火)に、シンガポールからユノイア・ジュニア・カレッジの生徒39人と引率の先生5人を迎え、国際交流を行いました。

歓迎式典では、ESS部が作成した学校紹介動画やプレゼンテーション、書道部による大書パフォーマンスを披露しました。また、全校生徒とシンガポールの生徒でフォークダンスを行い、束の間ではあったものの、直接的な交流を行うことができました。その後、校内で2グループに分かれ、それぞれ茶道・折り紙体験、箏体験と和文化に触れました。

ランチミーティングでは、学年を超えて集まった生徒たちとお互いの好きなアニメの話などで盛り上がり、交流を深めることができました。

午後は筆の里工房へ移動し、好きな漢字を1字選んで筆でカレンダーに書くといった書道体験、そして、筆づくりの実演や展示作品の鑑賞を一緒に楽しみました。別れ際には一緒に写真を撮り、名残を惜しみました。

一期一会の思い出に残る交流となりました。

▲シンガポールの生徒と熊高生とで記念撮影

問熊野高等学校　☎854－４１５５

『ぼけますからよろしくお願いします。～お帰りお母さん～』上映会＆講演会のご案内

映画『ぼけますからよろしくお願いします。～お帰りお母さん～』の上映会と、信友直子監督による講演会が開催されます。「人生の最期をどう迎えたいか」を親子で率直に語り合った記録を通して、事前の対話がもたらす安心と、家族の心理的な支えになる可能性を丁寧にお話しいただきます。

時1月31日(土) 14:00～17:00(13:30開場)
所安芸区民文化センター　1階ホール(広島市安芸区船越南3－2－16)
定400人(先着順)　講信友直子
申電話または専用フォームからお申し込みください。
締1月17日(土)まで　問安芸区医師会　☎823－４９３１

◀こちらからお申し込みいただけます

（高齢者支援課）

人権とわたし

「ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト」受賞作品を紹介！（Part.15）

性別に関する固定概念（ジェンダーバイアス）の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して開催された「ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。

『おいしそう　愛妻弁当？　自前です』

【作者のコメント】新しい職場で、自分で作ったお弁当を食べていたら、愛妻弁当ですか?おいしそうですね、と言われました。そもそも独身なのですが。一人暮らしの男性がお弁当を作るということが当たり前になるのはまだまだ先なのだと感じました。（30代男性）

◀そのほかの受賞作品はこちらからご覧いただけます

［出典］
ちぃともやもやジェンダー川柳コンテスト2024入賞作品

（生活環境課）

いじめ、虐待、子育てなど、こどもの人権については『**子どもの人権110番**』へ
☎**0120－007－110**（祝日を除く月～金曜日　8:30～17:15）
広島法務局・広島県人権擁護委員連合会

子どもは地域で守る!!『**子ども 110 番の家**』にご協力ください
申青少年育成くまの町民会議事務局
教育総務課社会教育グループ　☎854－３１１１